



講義のはじめに

(8050問題に対応するために)

島根県立心と体の相談センター

8050問題とは

- 今回の研修は「8050問題」に対応するため企画しました
- 8050問題とは、「高齢の親が中高年の子ども(ひきこもり状態)の生活を支えている状態」
- 放置しても改善しない → 9060問題
- よって早めの対応(準備)がカギ

何をすべきか？

① 状況把握

- ・ 今の「家」の状況(名義、本人の生活技能、家計等)

② 準備

- ・ 手続きの準備
 - ・ 技能(家事の技術など)
- ベースにコミュニケーション(信頼関係)
- ・ **家計のシミュレーション(講義の主)**

③ 実行

④ 見直し

手続きの例

- 電気光熱水費の支払いは、本人(子)名義にする
- 国民年金保険料の検討
 - ア 免除申請を検討する(お金が足りない場合)
 - イ 親が保険料を支払い、余裕あれば、上乘せを検討(お金に余裕がある場合)
 - ウ 現状のまま支払う(ア、イ以外)
- 固定資産税の支払い方法を検討しておく
- 資産あれば、年間110万以内で、本人(子)へ(名義預金・定期贈与とみなされることあり。専門家に相談を)
- 精神保健福祉手帳、障害者年金を検討する

技能の例

- 月10万以内で生活できるようにする(=自炊)
- 入浴、掃除、洗濯、炊事、買い物を教える
- SOSが出せるようにする(電話(SNS)ができる)
- ATMが使えるようにする(インターネットバンキングでも可)
- 連絡先一覧を作って、貼っておく
- 親亡き後のイメージを具体的に描く(どこに住むのか、どうやって生きていくのか等)
- その上で、キーパーソンを選定し、依頼する(親族等で親亡き後の役割分担をする)

何をすべきか？

① 状況把握

- ・ 今の「家」の状況(名義、本人の生活技能、家計等)

② 準備

- ・ 手続きの準備
 - ・ 技能(家事の技術など)
- ベースにコミュニケーション(信頼関係)
- ・ **家計のシミュレーション(講義の主)**

③ 実行

④ 見直し